

研究報告

【2015年度～2019年度】

教員名	植木哲也
所属	国際文化学部キャリア創造学科
学位	博士(学術)
専門分野	哲学、科学技術社会論
研究テーマ	知識の社会的作用の研究
所属学会	日本哲学会、科学技術社会論学会、北海道哲学会、など。
研究活動 及び 社会活動	<p>① 学術書／学術論文</p> <p>三上直之、吉田省子、蔵田伸雄、早岡英介、永田泰彦、八木絵香、植木哲也、川本思心、佐々木香織「STSにおけるアクションリサーチを考える—第15回年次研究大会における実行委員会企画ワークショップの議論から」、『科学技術社会論研究』第15号、2018年11月、159-70頁</p> <p>「帝大教授のアイヌ墓地発掘—小金井良精の第二回北海道旅行（一八八九年）」、『苫小牧駒澤大学紀要』第33号、2018年3月、1-26頁</p> <p>② 一般書／新聞記事など</p> <p>「北大と植民学」、ビーアンビシヤス9条の会北海道編纂『北海道大学ピースガイド』2019年12月、31-32頁</p> <p>「〈植民〉と〈開拓〉—アイヌ民族抹消を試みた学者たち」、少数民族懇談会編集・発行『シンポジウム・アイヌの視点で問う「北海道150年」記録集』、2019年7月、4-11頁</p> <p>「一〇一五人が眠るアイヌ納骨堂」／「林善茂によるアイヌ差別講義事件」、北大ACMプロジェクト編『北海道大学もうひとつのキャンパスマップ』寿郎社、2019年6月、54-59／67-73頁</p> <p>「アイヌ遺骨返還運動とDNA研究」、松島泰勝・木村朗編著『大学による盗骨—研究利用され続ける琉球人・アイヌ遺骨』耕文社、2019年2月、92-114頁</p> <p>「「研究」が踏みにじる尊厳—松島泰勝著『琉球奪われた骨』」、『琉球新報』2018年11月11日（書評）</p> <p>「アイヌ民族の遺骨を欲しがる研究者」、谷川健一・大和岩雄責任編集『民衆史の遺産—第13巻アイヌ』大和書房、2018年7月、394-405頁（修正再録）</p> <p>「地域のやり方尊重を」、『北海道新聞』（室蘭・胆振版）2017年6月30日（インタビュー）</p> <p>「地域から同意得るべき」（水曜討論「アイヌ研究の是非」）、『北海道新聞』2017年6月7日（インタビュー）</p> <p>『新版 学問の暴力—アイヌ墓地はなぜあばかれたか』春風社、2017年2月、全330頁</p> <p>「学問の自由」の本来の姿、『コカヌ エネ（アイヌ遺骨返還請求訴訟ニューズレター）』</p>

No. 14、2016年7月、4-5頁

「「知の力」の光景」、『出版ニュース』6月上旬号、出版ニュース社、2016年6月、11頁
「アイヌ民族の遺骨を欲しがらる研究者」／「英国の遺骨返還状況」、北大開示文書研究会編
『アイヌの遺骨はコタンの土へ—北大に対する遺骨返還訴訟と先住権』、緑風出版、
2016年4月、102-117頁／221-228頁
『植民学の記憶—アイヌ差別と学問の責任』緑風出版、2015年7月、全236頁

③ 学会等における学術的な活動

「〈滅びゆく民族〉—学問という植民地政策」、部会5「学知の帝国主義、植民地主義批判」、
日本平和学会2018年度秋季研究大会、龍谷大学、2018年10月28日
「研究用アイヌ遺骨のゆくえ—杵臼コタンへの返還と今後の問題」、科学技術社会論学会第
15回年次研究大会、北海道大学、2016年11月、(口頭発表)
「研究が引き起こすアイヌ遺骨問題」、ワークショップ「STSにおけるアクションリサー
チを考える」、科学技術社会論学会第15回年次研究大会、北海道大学、2016年11
月、(話題提供)

④ 市民講座など社会的な活動

「アイヌ人骨問題の今」、東アジア歴史文化研究所第6回定例研究会、苫小牧駒澤大学、
2019年6月7日
「北海道〈命名〉150年と先住民族アイヌ—植民学と民族政策」、苫小牧市民大学講座
「日本文化の再発見7」、苫小牧市文化交流センター、2018年12月5日
「植民学講座とアイヌ政策」、アイヌ先住権をめぐる連続出前講座2018「Part1北海道
大学に「異議」あり」、本願寺札幌別院、2018年11月10日
「〈植民〉と〈開拓〉—アイヌ民族の抹消を試みた学者たち」、シンポジウム「アイヌ
の視点で問う「北海道150年」」少数民族懇談会主催、札幌エルプラザ、2018
年7月22日
「新ひだか町でのアイヌ遺骨持ち去りの背景と今後」、上映×朗読×講演会「新ひだ
か町から持ち去られたアイヌの遺骨について知る、感じる、考える」、新ひだか
町地域交流センターピュアプラザ、2018年4月22日
「小金井良精の北海道旅行—東大のアイヌ遺骨」、出前講座「奪われたアイヌ遺骨—
その研究の過去と現在；東京大学・札幌医科大学のケース」、札幌市教育文化会
館、2018年2月16日
「帝大教授の北海道旅行—近代科学と先住民族」、苫小牧市民大学講座「日本文化の再
発見6」、苫小牧市文化交流センター、2017年11月22日
「アイヌの遺骨がこうむった“学問の暴力”」、学習会「先人たちの遺骨を故郷の地 平
取へ」、平取町二風谷生活館、2017年3月18日
「英国人のアイヌ墓地発掘」、苫小牧市民大学講座「日本文化の再発見4」、苫小牧市
文化交流センター、2015年11月18日

「アイヌ民族と遺骨研究」、出前講座「アイヌの遺骨はアイヌのもとへ in Tokyo part 2」、公益財団法人人権教育啓発推進センター人権ライブラリー（東京）、2015年10月31日

「静内アイヌ遺骨発掘の背景」、出前講座「アイヌの遺骨はアイヌのもとへ in 新ひだか」、新ひだか町地域交流センターピュアプラザ、2015年7月18日

⑤ その他

北海道哲学会会計監査、2017年7月～2019年7月